

# 株式会社リョーサン

## 2015年度第2四半期 決算説明会

---

2015年11月18日  
代表取締役社長  
三松 直人

# 2015年度第2四半期 業績結果

## 2015年度通期 業績計画

## 第9次中期経営計画の取り組み事例

### 資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場(日本、アジア等)の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等

# 2015年度第2四半期 連結業績の概要

(単位: 億円)

	2014年度		2015年度			上期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年同期比	期初計画	売上高比	期初計画比
売上高	1,201		<b>1,167</b>		△2.8%	1,150		+1.5%
売上総利益	94	7.9%	<b>97</b>	<b>8.3%</b>	+2.9%	94	8.2%	+3.4%
販売管理費	68	5.7%	<b>68</b>	<b>5.9%</b>	+0.3%	67	5.8%	+2.6%
営業利益	25	2.2%	<b>28</b>	<b>2.4%</b>	+9.6%	27	2.3%	+5.3%
経常利益	24	2.0%	<b>26</b>	<b>2.3%</b>	+9.3%	27	2.3%	△1.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14	1.2%	<b>18</b>	<b>1.6%</b>	+30.7%	18	1.6%	+2.2%
1株当たり四半期純利益(円)	44.73		<b>59.30</b>		+32.6%	58.03		+2.2%
国内売上高	624	52%	<b>683</b>	<b>59%</b>	+9.5%			
海外売上高	576	48%	<b>484</b>	<b>41%</b>	△16.1%			

# 2015年度第2四半期 事業別業績の概要

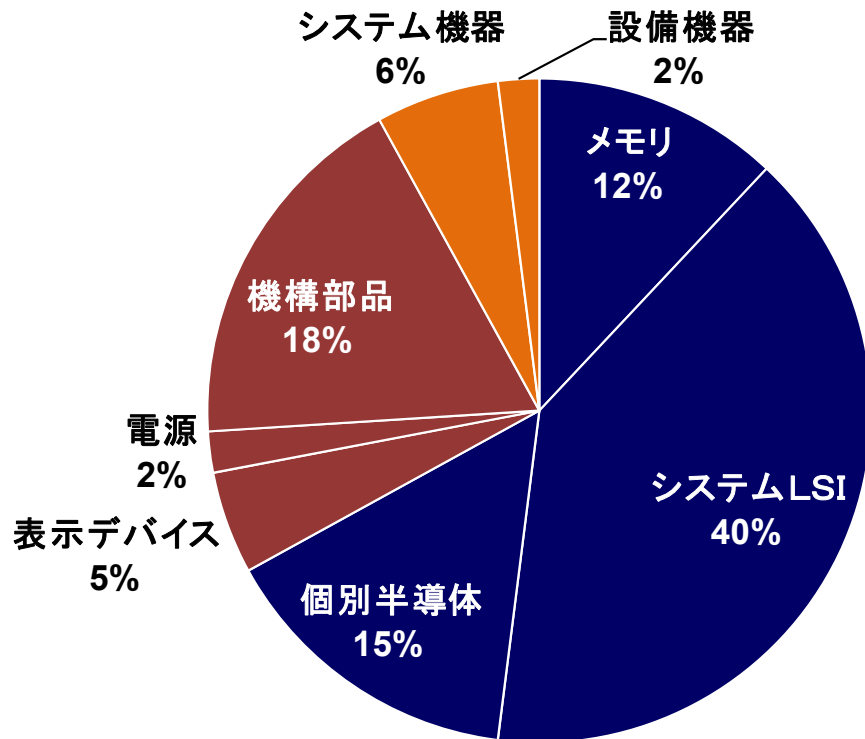
(単位: 億円)

		2014年度		2015年度			前期		
		上期 実績	売上 高比	上期 実績	売上 高比	前年 同期比	上期 期初計画	売上 高比	上期 期初 計画比
半導体事業	売上高	800		<b>677</b>		△15.4%	680		△0.3%
	営業利益	16.1	2.0%	<b>14.2</b>	<b>2.1%</b>	△11.7%	14.0	2.1%	+1.6%
電子部品事業	売上高	304		<b>332</b>		+9.3%	320		+4.0%
	営業利益	6.9	2.3%	<b>9.0</b>	<b>2.7%</b>	+28.9%	8.0	2.5%	+12.6%
電子機器事業	売上高	95		<b>156</b>		+63.9%	150		+4.6%
	営業利益	4.3	4.5%	<b>7.3</b>	<b>4.7%</b>	+68.9%	7.0	4.7%	+5.0%
営業利益調整額		▲1.5		▲ <b>2.1</b>			▲2.0		
計	売上高	1,201		<b>1,167</b>		△2.8%	1,150		+1.5%
	営業利益	25.9	2.2%	<b>28.4</b>	<b>2.4%</b>	+9.6%	27.0	2.3%	+5.3%

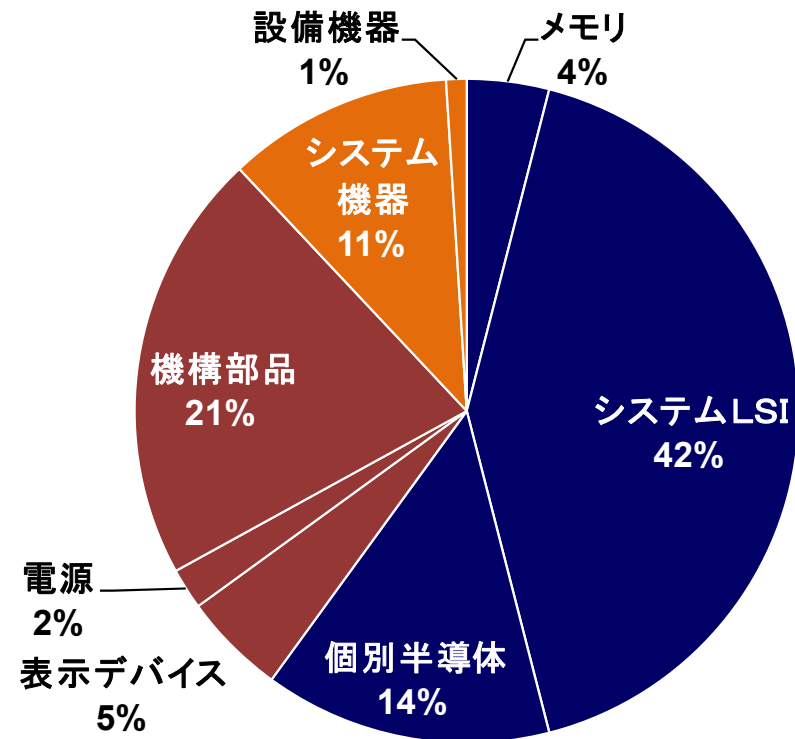
# 商品別売上高の構成比

◆ メモリが縮小し、システム機器が拡大

2014年度上期



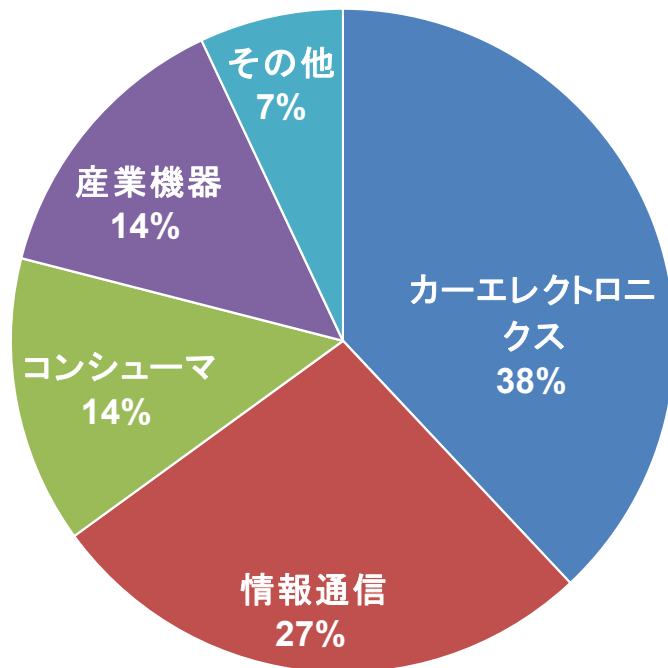
2015年度上期



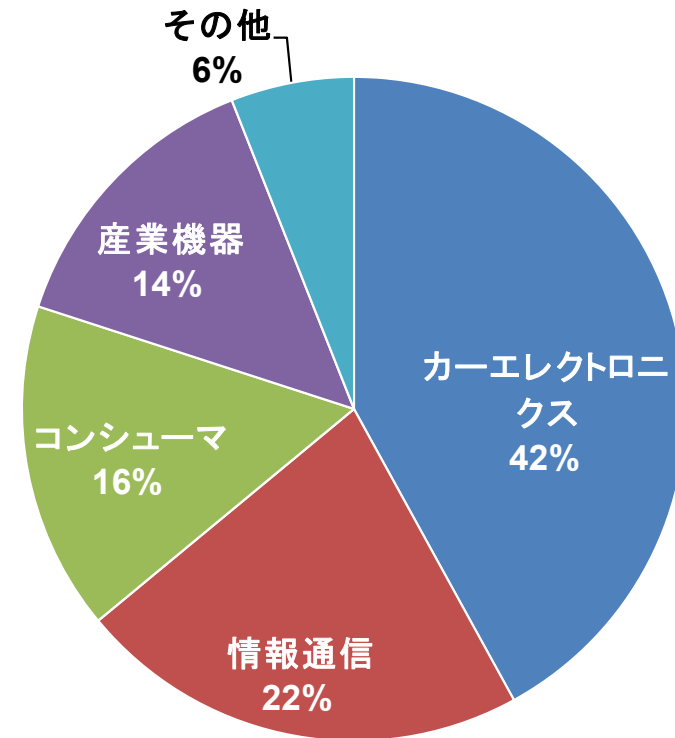
# 分野別売上高の構成比

◆ 情報通信が減少し、カーエレクトロニクスが拡大

2014年度上期



2015年度上期



# 連結貸借対照表

## ◆ 構造に大きな変化はない

(単位: 億円)

	2014年度末	2015年度上期末	前年度末差	主な要因	
流動資産	1,492	1,489	△3	・現金及び預金 ・受取手形及び売掛金 ・有価証券	△89 +18 +59
固定資産	195	192	△3	・投資有価証券	△3
資産合計	1,688	1,681	△7		
負債	470	470	0	・買掛金 ・短期借入金 ・未払法人税等	+13 △7 △4
純資産	1,218	1,211	△7	・当期純利益 ・配当金の支払い ・為替換算調整勘定	+18 △13 △8
負債純資産合計	1,688	1,681	△7		
自己資本比率	72.2%	72.0%	△0.2		

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位: 億円)

	2014年度 上期	2015年度 上期	主な要因	
営業活動によるキャッシュ・フロー	60	<b>△2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金等調整前四半期純利益 26</li> <li>・売上債権の増加 △26</li> <li>・たな卸資産の増加 △10</li> <li>・仕入債務の増加 18</li> <li>・法人税等の支払額 △12</li> </ul>	
投資活動によるキャッシュ・フロー	9	<b>△1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の売却による収入 1</li> <li>・無形固定資産の取得による支出 △2</li> </ul>	
フリー・キャッシュ・フロー	70	<b>△3</b>		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27	<b>△21</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期借入金の返済 △6</li> <li>・配当金の支払 △13</li> </ul>	
現金及び現金同等物の四半期末残高	545	<b>529</b>		



2015年度第2四半期 業績結果

2015年度通期 業績計画

第9次中期経営計画の取り組み事例

# 2015年度通期 連結計画の概要

(単位: 億円)

	2014年度		2015年度			2015年度		
	通期 実績	売上 高比	通期 計画	売上 高比	前期比	通期 期初計画	売上 高比	期初 計画比
売上高	2,335		<b>2,350</b>		+0.6%	2,350		0.0%
売上総利益	195	8.4%	<b>190</b>	8.1%	△2.7%	190	8.1%	0.0%
販売管理費	135	5.8%	<b>133</b>	5.7%	△2.2%	133	5.7%	0.0%
営業利益	59	2.5%	<b>57</b>	2.4%	△3.8%	57	2.4%	0.0%
経常利益	54	2.3%	<b>57</b>	2.4%	+4.2%	57	2.4%	0.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	32	1.4%	<b>38</b>	1.6%	+18.7%	38	1.6%	0.0%
1株当たり当期純利益(円)	101.80		<b>122.51</b>		+20.3%	122.51		0.0%
国内売上高	1,258	54%	<b>1,350</b>	57%	+7.2%	1,350	57%	0.0%
海外売上高	1,076	46%	<b>1,000</b>	43%	△7.1%	1,000	43%	0.0%

# 2015年度通期 事業別計画の概要

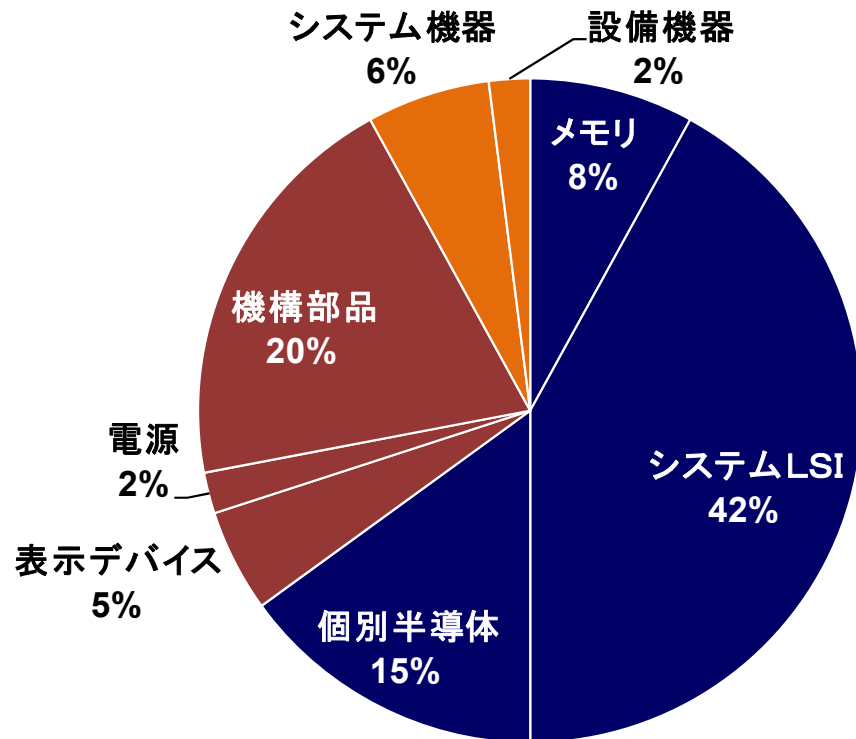
(単位: 億円)

		2014年度		2015年度			2015年度		
		通期 実績	売上 高比	通期 計画	売上 高比	前期比	通期 期初計画	売上 高比	期初 計画比
半導体事業	売上高	1,512		<b>1,400</b>		△7.4%	1,400		0.0%
	営業利益	34.8	2.3%	<b>31.0</b>	<b>2.2%</b>	△11.0%	31.0	2.2%	0.0%
電子部品事業	売上高	629		<b>660</b>		+4.9%	660		0.0%
	営業利益	16.1	2.6%	<b>17.0</b>	<b>2.6%</b>	+5.1%	17.0	2.6%	0.0%
電子機器事業	売上高	193		<b>290</b>		+49.5%	290		0.0%
	営業利益	10.5	5.4%	<b>13.0</b>	<b>4.5%</b>	+23.5%	13.0	4.5%	0.0%
営業利益調整額		△2.2		<b>△4.0</b>			△4.0		0.0%
計	売上高	2,335		<b>2,350</b>		+0.6%	2,350		0.0%
	営業利益	59.2	2.5%	<b>57.0</b>	<b>2.4%</b>	△3.8%	57.0	2.4%	0.0%

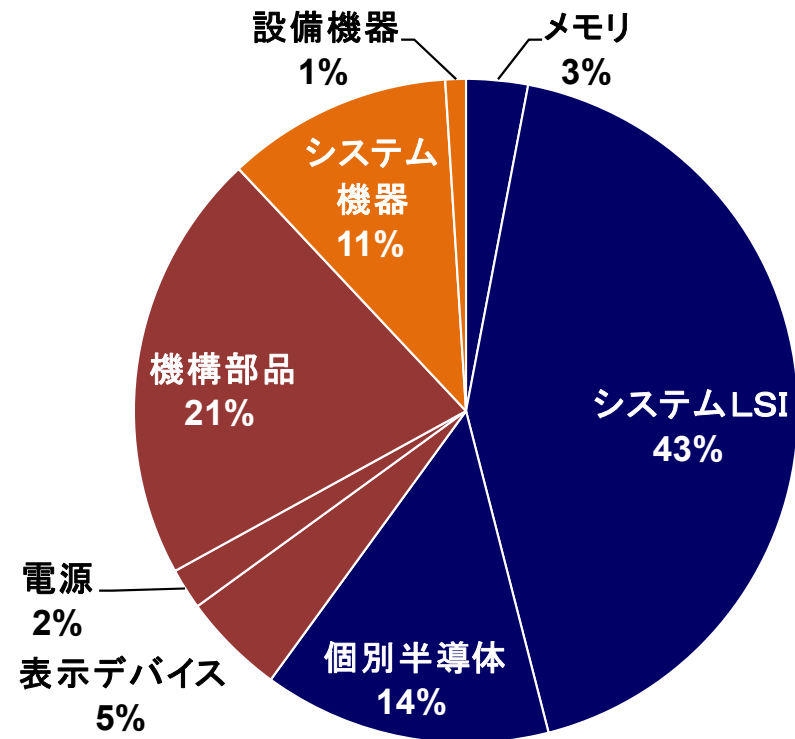
# 商品別売上高の構成比

◆ メモリが縮小し、システム機器が拡大

2014年度



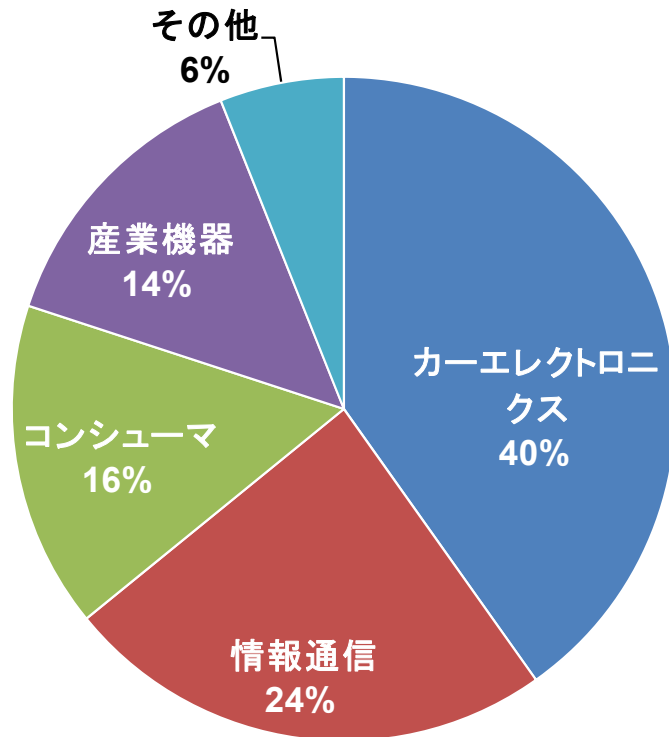
2015年度



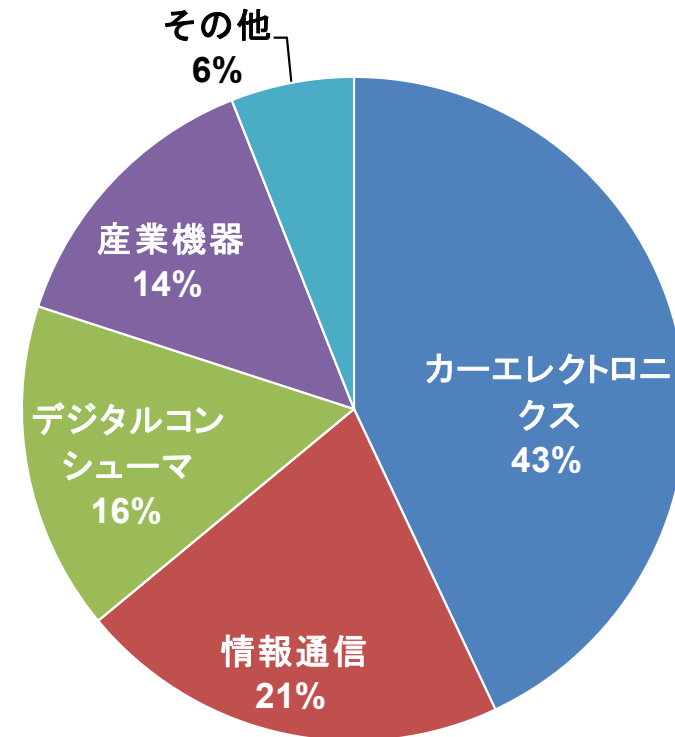
# 分野別売上高の構成比

◆ 情報通信分野が減少し、カーエレクトロニクス分野が拡大

2014年度



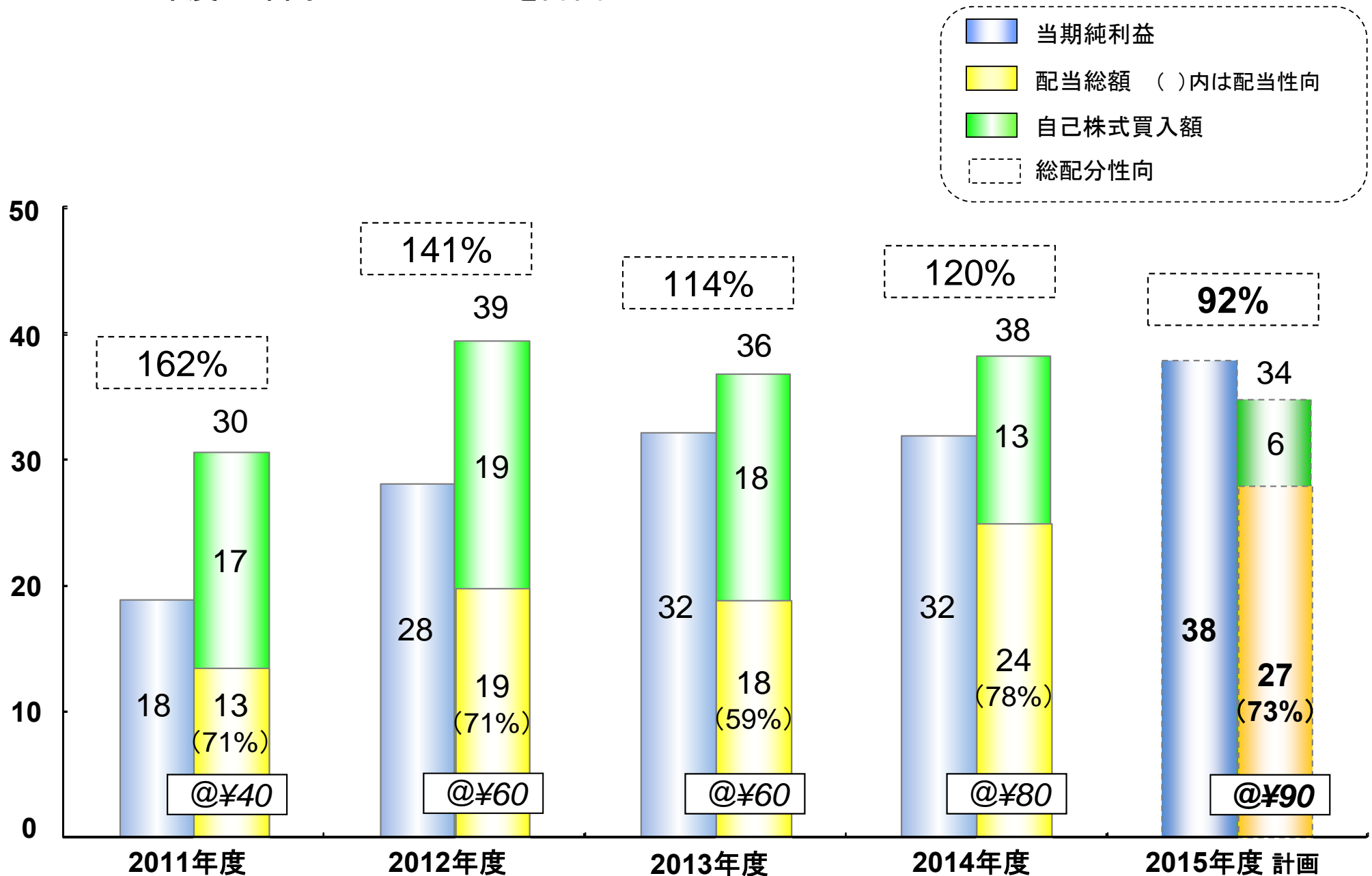
2015年度



# 株主様への利益還元計画

(単位: 億円)

## ◆ 2015年度の年間配当金は90円を計画



2015年度第2四半期 業績結果

2015年度通期 業績計画

第9次中期経営計画の取り組み事例

# 基本姿勢

## 第9次中期経営計画の基本姿勢

### 「変革」と「成長」

事業構造の変化に対応した  
「ビジネスモデルの転換」と持続可能な「自律的成長」の追求

## 普遍的な経営姿勢

「経営の本質を探究し、経営の革新を進め、  
経営の成果を挙げる」ことを基軸に、  
「オープンでクリーンな企業経営」と「創造性豊かな事業活動」を実践する



# 具体的な取り組み

## 1. リョーサンの目指すべき姿

「エレクトロニクスのシステムコーディネーション」の実現

- システムソリューションビジネスの事業化
- グローバルディストリビューター

## 2. 取り組みの概要

成長路線の再構築

新たなるビジネスモデルの創出  
(システムソリューション力の強化)

プロジェクト  
ビジネス

マルチベンダー化の更なる推進

(既存ビジネスにおける新たなるサプライヤーおよび新規商材の拡充)

既存ビジネス  
の拡大

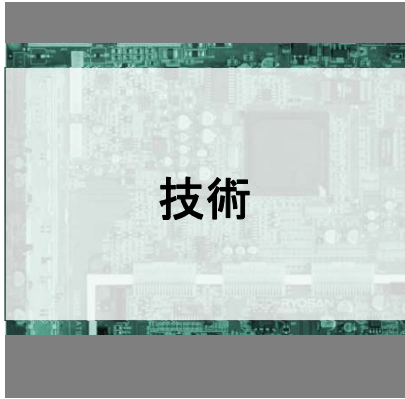
グローバル対応強化による海外ビジネスの拡大  
(グローバルディストリビューターを目指す)

資本効率の向上

成長に向けた積極的な投資

自己株式の取得

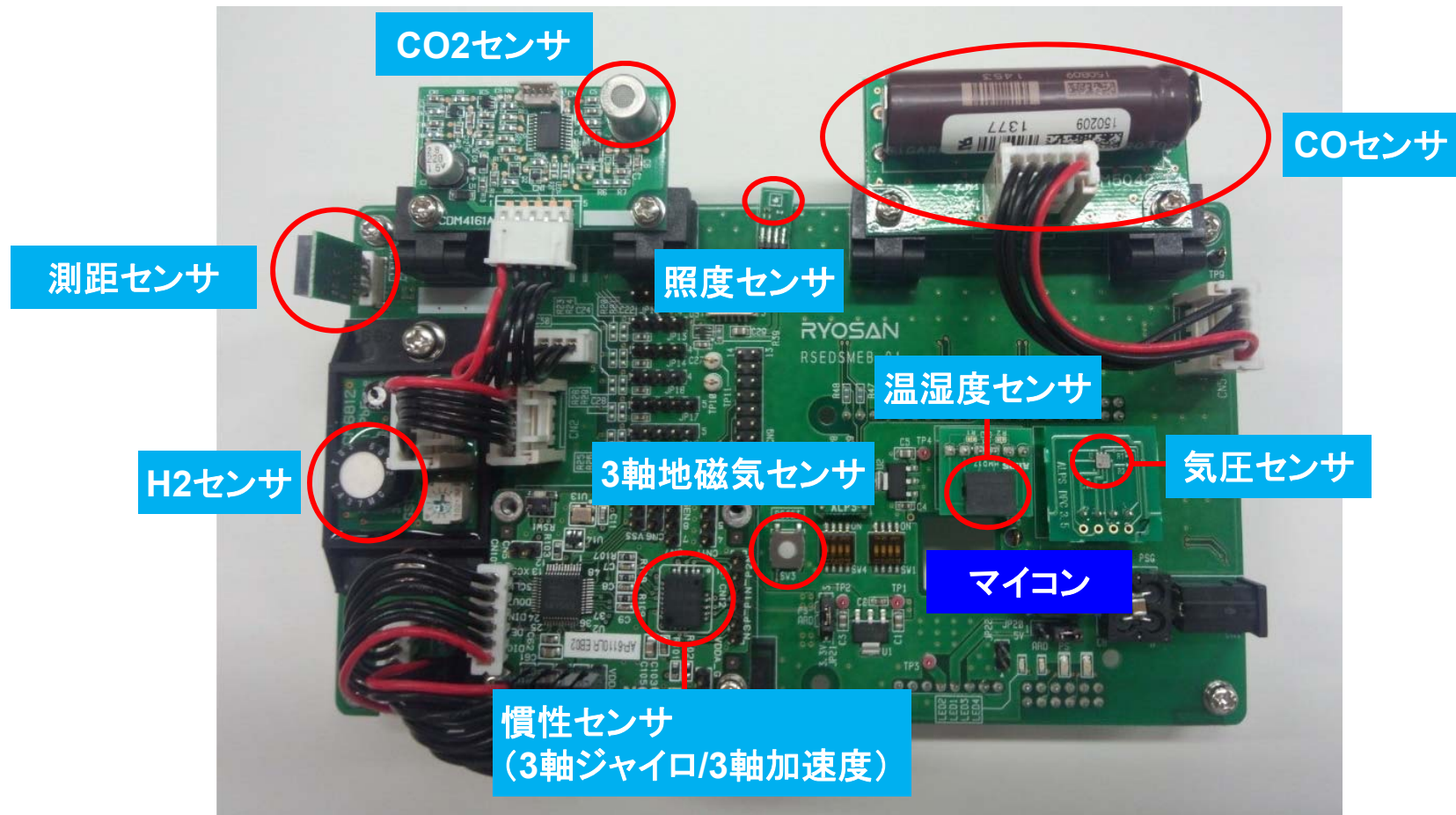
# 新たなビジネスモデルの創出 事例1



技術

## IoTセンサハブボードの開発

- 当社取扱のセンサ商材を活用し、当社独自の制御ソフトを使いお客様にソリューションとして提案
- 必要な複数のセンサをモジュール化して、個別商品の商権にとられないビジネスモデルを創出



# 新たなビジネスモデルの創出 事例2

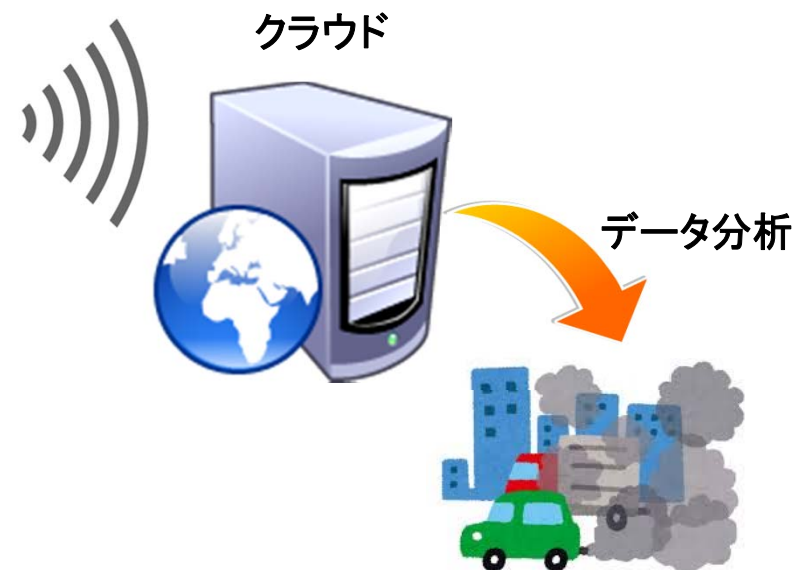
システム  
ソリューション  
プロジェクト

- ・当社のセンサハブソリューションを活かし、必要な機材の開発に参画
- ・ビッグデータを活用した、課金ビジネスモデルを創出

## — ビジネスモデルの1例 — VasP (Vehicle as Probe) 事業への参画

### <事業概要>

- ・バイク等の移動体に測定器(各種センサー)を搭載し、様々なデータをリアルタイムでモニタリングを行い、分析データを活用するビジネスモデル



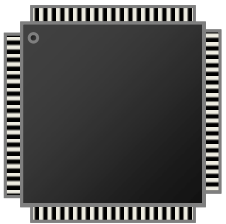
# 新たなビジネスモデルの創出 事例3

アナログ・  
センサ市場開拓  
プロジェクト

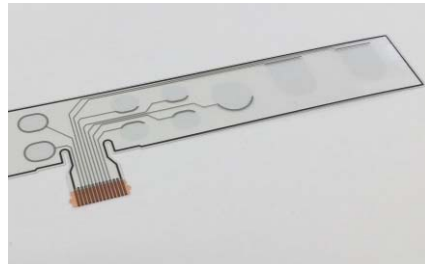
従来はお客様が個々に部品を購入して行っていた「組込み」領域を、当社が複数のサプライヤーをコーディネートし、ソリューションとして提供

## — ビジネスモデルの1例 — タッチキーソリューション

マイコン



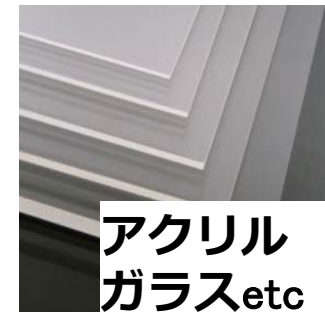
タッチキーフィルム



加飾  
フィルム



筐体



貼り合せて提供  
【協力会社による】

【当社提供のソリューションデモボード】